中央図書館とあなたをつなぐ広報誌

ざ・ちゅうおうぷれす vol.117

特集 のぞいてみたい、みんなの本棚



本屋さんが図書館で借りたい1冊

『想像力 生きる力の源をさぐる』
内田伸子（春秋社）

新しいことに興味をもったとき、その入り口となる一冊を探しに図書館へ
そんな時に手にしたくなった一冊です。
（七月堂 後藤聖子さん）

アイデアシェア企画
ひとことアンケート

編集部から
中央図書館のこのごろ

世田谷区立中央図書館
フロア別おすすめ新着図書

11月1日は「本の日」
のぞいてみたい、みんなの本棚

11月1日は「本の日」です。数字の「11」と「1」を並べると、本棚に並んだ本の背表紙のように見えることから制定されました。また、「想像力や創造力は一冊の本から始まる」という思いも込められています。みなさんも普段読まないジャンルにも目を向けてみませんか。本棚には、あなたとの出会いを待つ一冊がきっとあります。



本棚には、その人らしさが表れると言われています。選ぶ本が違えば、並ぶ本もさまざま。今回は、本屋さん、図書館、利用者さんの個性あふれる本棚をのぞいてみましょう。

まず最初は豪徳寺駅の近くにある、主に詩歌の本を扱う本屋さんをご紹介します。その名も「七月堂」さん。表紙の一冊も選んでいただいた店主の後藤さんと、スタッフの鈴木さんにお話をお伺いしました。

取材　ざ・ちゅうおうぷれす編集担当
沖野（中央右）、吉田（中央左）

地域に育てられた本屋さんの本棚

七月堂さんの店舗は、明大前で古本屋として出発しました。その後、地域の本屋が次々となくなるなか、地元の方々から「古本を買い取ってほしい」「こんな本も置いてほしい」といった声が寄せられるように。「まちから本屋がなくなってしまうのは寂しい」という思いから、新刊も扱う本屋になっていきました。現在のお店では、入口に古本、奥には詩歌の本が並んでいます。

ご紹介するのは、世田谷出身の作家・吉田篤弘さんの作品が多く並ぶ棚です。吉田さんの作品には、世田谷線沿線をモデルにした風景がたびたび登場します。棚には「月舟町シリーズ」から、『つむじ風食堂の夜』『それからはスープのことばかり考えて暮らした』『レインコートを着た犬』（吉田篤弘著、中央公論新社）が並びます。

お店のロゴも
吉田篤弘さんが手掛けています



詩の本棚

詩人を知りたいと思ったら、まず思潮社の現代詩文庫をおすすめしています。詩集だけではなく、詩的なものを感じて惹かれた本も置かれています。

ほとんど全巻が揃っている
圧巻の棚です



出版社「七月堂」の本棚

実は、七月堂さんの原点は印刷所です。1973年に創業し、やがて詩集を中心とした出版も手がけるようになりました。そして2016年、事務所に併設するかたちで「七月堂古書部」がオープンしました。

現在も出版を続けており、中でも『カステーラのような明るい夜』（尾形亀之助著、七月堂）は、七月堂さんが力を入れた1冊です。



図書館の本棚

図書館では様々な特集棚をつくってみなさまのご来館をお待ちしております。中でも、TEENSの本棚は、「あ、面白そう」と立ち寄っていただけるような本棚づくりをしています。

10代が選ぶ海外文学大賞受賞作品や図書館員が選んだおすすめの本など多彩な本が並びます。気になる一冊との出会いを通して、新しい興味や世界が広がるきっかけになる本棚です。

本棚からピックアップ！
おすすめの一冊



妄想ってすごい！
99個の恐怖症と偏執を
紹介する読む辞典です。

『恐怖症・偏執狂辞典
世にも奇妙な99の妄想の歴史』
著：ケイト・サマースケイル
訳：田内志文
国書刊行会



中央図書館 利用者さんの本棚

「ひとはこ図書館」というイベントを知っていますか？小さな箱（ひとはこ）を図書館に見立て、その箱の館長としておすすめの本を選びます。ここでは、今年の1月に展示された本棚のひとつ「ふくちゃんの本棚　科学の本も、おもしろい！図書館」を紹介します。

館長のふくちゃんから「科学の読み物が大好き。子どもだけではなく若者や子どもにもおすすめです。」とコメントをいただきました。

「ひとはこ図書館」の今後の開催については、世田谷区立中央図書館ホームページでお知らせします。ぜひ自分だけの本棚をつくってみてください！

厳選された本たちが
ひとはこに詰まっています



物語もいいけど、科学の本もおもしろいヨ。知らなかったことがわかるって大人も楽しい。

『りんごだんだん』
写真と文：小川 忠博
あすなろ書房



THE SETAGAYA CENTRAL LIBRARY PRESS　連載

中央図書館のこのごろ

「耳で聴く読書」を楽しめるようになりました

図書館の電子書籍サービスでは、オーディオブックもご利用いただけます。2026年1月9日のサービス開始以来、多くの方にご利用いただいており、現在では貸出ランキングの上位をオーディオブック作品が占めています。

オーディオブックは、本の内容をプロのナレーターや声優の朗読で楽しむ「耳で聴く読書」です。声によって物語の世界観や登場人物の感情が豊かに表現されるため、臨場感のある読書体験を味わうことができます。通勤・通学の途中や家事の合間、目を休めたいときなど、さまざまな場面で気軽に読書を楽しめるのも魅力です。スマートフォンやタブレットから、いつでもどこでも利用できる新しい読書のかたちとして、ぜひ日々の暮らしの中でお試しください。

開館情報
イベントのお知らせは
ウェブサイトへ

本屋さんが図書館で借りたい1冊

表紙の本を選んでいただいた
後藤聖子さんのお店はこちら

「七月堂」
住 東京都世田谷区豪徳寺 1-2-7
営 木～月　11時～20時
　 火　15時～22時
休 水
HP shichigatsudo.co.jp/

〈編集後記〉

夏の暑さが話題となる近年ですが、今年は 8 月の猛暑日が少なく、9 月に入ってからも雨の日が続くなど、例年より早く秋の訪れを感じる季節となりました。図書館では夏休み期間中、子どもたちやご家族はもちろん、読書や調べもので利用される大人の方々にも多くご来館いただき、幅広い世代の皆さまでにぎわいました。これから迎える読書の秋は、新しい本との出会いにぴったりの季節です。今号が皆さまの読書をより豊かなものにするきっかけとなれば幸いです。職員一同、ご来館を心よりお待ちしております。（F.S）

ひとことアンケート

図書館を利用するみなさんから、図書館や本にまつわる面白くて楽しいアイデアや希望を募集する企画、「ひとことアンケート」。素敵なアイデアが届きました。

Q. もし本棚に1冊だけ残すなら？

『あきない世傳　金と銀』高田郁
主人公の知恵を駆使して苦難を乗り越えていくところ、周囲の人々の誠実さなど、本当に素晴らしい。江戸時代の風習なども学べる。高田郁さんの作品はどれも良いのですが、これは傑作です。（P.N. きこねこ）

『生きがいについて』神谷美恵子
寄り添ってくれる感じ。（P.N. アエスタス）

『おしいれタイムマシン』福島正実（作）・小川礼子（絵）
おしいれから始まるタイムトラベルに、いつでもドキドキできるから。（P.N. 本好きうさぎ）

『永遠の記憶』東野圭吾
東野圭吾ファン、ガリレオシリーズファンとしては、涙なしには読めない傑作だから。（P.N. かなみ）

『イタチとみずがみさま』内田麟太郎（作）・山本孝（絵）
梅雨をテーマにした絵本だが、純愛性が感じられる。自分もこんな恋がしたくなる。（P.N. クロエ）

『とにかく休め！』Testosterone
独特な絵と短文で読みやすい。自分は持たない視点で、笑い飛ばせていい。（P.N. ふじお）

『図書館革命』有川浩
有川浩さんの代表作の 1 つ。別冊を除いて図書館戦争シリーズの本編の最終巻で、これを読むとシリーズが気持ちよく完結していてしみじみしてしまいます！（P.N. ここあ）

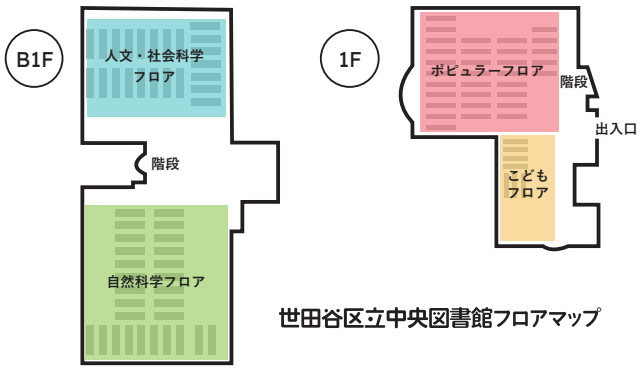
『ブルーピリオド』山口つばさ
遠い世界と思っていた美術の世界が身近に感じられるようになった。主人公に元気を貰える。（P.N. ミヤ）

次回のひとことアンケートもお楽しみに！ホームページで募集予定です

ざ・ちゅうおうぷれす vol.117
中央図書館とあなたをつなぐ広報誌
発行日：2026年11月　発行：世田谷区立中央図書館 世田谷区弦巻3-16-8 03-3429-1811

世田谷区立中央図書館
フロア別 おすすめ新着図書

NEW ARRIVAL BOOK RECOMMENDATIONS



世田谷区立中央図書館フロアマップ

1F ポピュラーフロア - 小説

支えあう大切さを描く、心温まるストーリー。



『人生のリフォームどき』
著：内山純
徳間書店

B1F 人文・社会科学フロア - 語学

マンガやゲームに出てくる、あの言葉はラテン語が由来かも！



『あらゆる創作のためのラテン語ネーミング辞典―ローマの神話から人名、文化まで』
著：ラテン語さん
監修：河島思朗
ホビージャパン

1F ポピュラーフロア - 文学

実際に巡ることで、文学の新たな魅力に気づくかも！



『東京の文学館ぶらり旅』
著：増山かおり
エクスナレッジ

B1F 人文・社会科学フロア - 旅行

実は日本でも満天の星空が楽しめる！



『日本で一番すてきな星空ガイド』
著：縣秀彦
エクスナレッジ

1F こどもフロア - 児童書

知れば知るほどおもしろい！宇宙や地球の不思議をのぞいてみよう！



『こども宇宙 未知なる宇宙のことがわかる本』
著：ライブ
監修：洞口 俊博
カンゼン

B1F 自然科学フロア - 自然

プラネタリウムの百年にわたる歴史をひもとき、その魅力を再発見しませんか。



『プラネタリウム百年史―人々、場所、装置の物語―』
編：マシュー・マクマホン、ペドロ・M・P・ラポーゾ、マイク・スメイル、キャサリン・ボイス＝ジャシーノ
訳：水嶋 英治、木村 かおる
丸善出版

1F こどもフロア - 絵本

お弁当どろぼうを追うキツネ。チーターそっくりの仲間たちに出会います。犯人は誰？



『チーターどっちいったー？』
作：大塚健太
絵：かのうかりん
パイインターナショナル

B1F 自然科学フロア - 食生活

食べたいものを食べることの大切さを解説します！



『食べたいものを、食べていい―「毎日牛丼」生活も肯定する科学―』
著：守田和弘
光文社